

調達管理番号・案件名	
26a00178_マダガスカル国鉱業分野産業人材強化プロジェクト	

質問と回答は以下のとおりです。

8月24日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	10	注記5	第三国研修などでの研修内容を計画するため、無償資金協力で供与される機材のリスト、供与先となる3校の対象学科(コース)名、据付・導入教育・スペア部品供給等の付帯サービスの有無とその内容、及び導入日程の詳細を教示いただけないでしょうか。	無償資金協力で供与される機材リスト(据付・導入教育・スペアパーツ供給等の付帯サービスを含む)につきましては、現在、案件が公告・入札前の段階であるため、現時点での共有は難しい状況です。なお、機材の導入時期は2028年10月頃を予定しています。 また、供与先となる3校の対象学科(コース)につきましては、公開資料「マダガスカル国 鉱物資源人材育成に係る情報収集・確認調査(QCBS-ランパサム型)ファイナルレポート」の5.1.2「LTPアンバサンピト、LTPアラロピア、LTP アアマシナの概要」を参照してください。
2	10	企画競争説明書(P.10)第2章【2】特記仕様書(案)第4条業務の内容(1)プロジェクトの活動に関する業務①成果1に関わる活動活動1ー1「経済社会開発計画」により導入される機材の活用及び維持管理に係る研修を実施する。	・無償資金協力による学校別・分野別の機材リスト、仕様、据付条件、保証・保守条件等についてはいつ共有いただけますでしょうか？ ・機材据付業者に係る情報はいつ頃共有いただけますでしょうか？また、初期研修(初期操作手順、各種設定方法、使用方法、メンテナンス等)は機材据付業者の担当という想定でしょうか？ ・LTPによる機材の維持管理の現行の体制については、台帳(紙媒体、若しくはエクセル等の電子媒体)を用いているという理解でよろしいでしょうか。	・無償資金協力で供与される機材リスト(仕様・据付条件・保証・保守条件・機材据付業者を含む)につきましては、現在、案件が公告・入札前の段階であるため、現時点での共有は難しい状況です。 ・契約条件の詳細は今後詰められるものと思われませんが、基本的には機材据付業者の業務範囲に「研修」は含まれない見込みです。 ・マダガスカル国鉱物資源人材育成に係る情報収集・確認調査では、各LTPにおいて教員主体による機材維持管理が行われていること、また維持管理体制が十分に整備されていないことを確認しております。加えて、LTPアラロピアについては、電子インベントリーや保守記録簿が整備されていないことも確認しております。一方、LTPアンバサンピトおよびLTPトアマシナについては、同様の状況であるかどうかまでは確認できていません。プロジェクト実施段階において、本件受注者により改めて状況を確認いただくことを想定しております。
3	11	企画競争説明書(P.11)第2章【2】特記仕様書(案)第4条業務の内容(1)プロジェクトの活動に関する業務②成果2に関わる活動活動2-1:産官学により構成されるカリキュラム改善ワーキンググループを設置・運営する	ワーキンググループに対する活動のうち、第三国研修および講師派遣を除く活動に伴い発生する経費(会場費、交通費、会議費等)につきましては、先方政府の負担となるという理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。 一方で、特別なワークショップや大規模な合同会議等が必要と考える場合には、提案ください。なお、公示に記載の「マダガスカル現地研修」および「マダガスカル現地ワークショップ」については、本業務の活動として実施が求められているため、必要経費を見積に含めていただく想定です。
4	11	② 成果2に関わる活動(教育内容(カリキュラム)の改善)	対象となるカリキュラムはLTPで運営する4つのコースFPI、FPQ、FTG、FTSすべてでしょうか、それとも一部でしょうか。	本プロジェクトの対象は、LTPの全カリキュラムではなく、鉱業分野のニーズを反映した「溶接・板金」「機械加工」「電気・電子」の3分野です。一方で、対象となる具体的なカリキュラムについては、現時点では確定しておらず、プロジェクト開始後に設置されるワーキンググループにおける検討を通じて決定していく想定です。ただし、目的を鑑みるとFTSが主要な対象となる可能性が高いと考えています。

5	11	企画競争説明書(P.11) 第2章 【2】特記仕様書(案) 第4条業務の内容 (1)プロジェクトの活動に関する業務 ②成果2に関わる活動 教育内容(カリキュラム)の改善	改訂対象としている課程はFPI・FTG・FTSのどちらで しょうか？或いはすべてでしょうか？	上記と同じ。
6	11	企画競争説明書(P.11) 第2章 【2】特記仕様書(案) 第4条 業務の内容 (1)プロジェクトの活動に関する業務 ②成果2に関わる活動 活動2-3: 鉱業関連産業のニーズを反映したカリキュラム 案を作成する(注釈7) 対象技術分野の決定について	「最終的な決定は、カウンターパートから関連情報および データの提供を受けた後に行う」とありますが、その時期 と決定主体について想定はありますでしょうか？また、対 象技術分野は3分野が記載されていますが、3分野すべ てを対象とするのでしょうか？もしくは1～2分野に絞る 想定でしょうか？	・2026年度中に関係者の合意により決定されることを想定しております。 ・本プロジェクトの対象は、LTPの全カリキュラムではなく、鉱業分野のニーズ を反映した「溶接・板金」「機械加工」「電気・電子」の3分野です。一方で、対象と なる具体的なカリキュラムについては、現時点では確定しておらず、プロジェクト 開始後に設置されるワーキンググループにおける検討を通じて決定していく 想定です。ただし、目的を鑑みるとFTSが主要な対象となる可能性が高いと考 えています。
7	19	企画競争説明書(P.19) 第3章 2. 業務実施上の条件 (6)安全管理	移動手段に関して、JICAマダガスカル事務所と緊密に連 絡を取るようにと記載がありますが、アンタナナリボ首都 内およびトアマシナへの移動に際して、指定の移動手段や 移動制限等がございますでしょうか。	2026年8月21日時点では、トアマシナへの陸路移動は禁止されておりません が、状況は変わることもございますので、実際に渡航される際はJICA安全対 策措置をご確認ください。日中時間帯の移動が可能な行程で、専用車両等を利用 する。タクシー・ブルース(ミニバス)の利用は禁止です。
8	19	企画競争説明書(P.19) 第3章 1. プロポーザルに記載されるべき事項 (1)コンサルタント等の法人としての経験、能力 1) 類似業務の経験 類似業務: 職業訓練・技術教育分野における人材育成、実 習環境改善及びカリキュラム改善に係る業務	「実習環境改善」には、5Sカイゼンや施設・機材の維持管 理も含まれるという理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。

9	21	企画競争説明書(P.21-22) 第3章 4.見積書作成にかかる留意事項 (4)定額計上について	定額計上の「金額に含まれる範囲」において、セネガルでの第三国研修では参加者の日当・宿泊費が含まれていますが、第三国講師派遣を伴うマダガスカルでの研修では、参加者の日当・宿泊費は含まれておりません。マダガスカルでは慣例として、カウンターパートに対し、交通費や日当、宿泊費が発生する場合、プロジェクト側から支払ってはいない、との理解でよろしいでしょうか？（省庁の旅費規程により、カウンターパート側で負担しているとの理解でよろしいでしょうか？） 上記のほか、本プロジェクトで、マダガスカル政府と合意しているカウンターパート負担の予算があれば、内訳と単価をご教示いただけないでしょうか。 また、もし、交通費や日当、宿泊費をプロジェクト側で支払っている場合には、JICAマダガスカル事務所とカウンターパートと取り決めている単価があれば、ご共有いただくことは可能でしょうか。	・参加者はカウンターパートを想定しております。マダガスカルでのカウンターパートへの旅費のお支払いは想定しておりません。 ・カウンターパート負担の範囲については、R/Dにおいて、カウンターパートの配置、プロジェクト実施に必要な執務スペースおよび電気・水道・通信等のユーティリティを含む施設の提供、プロジェクト活動に必要な建物・会議室・研修施設の提供、施設・機材の利用に係る運営費用の負担、ならびに定例会議や通常活動に伴う移動等の経常的な費用について、C/P側が負担することで合意しております。 ・JICAマダガスカル事務所とカウンターパートとの間で取り決められた交通費・日当・宿泊費の単価はございません。
10	21	(4)定額計上について	セネガルでの第三国研修に関して、日本人専門家が同行するとした場合、その費用は定額計上分だけでなく、本体見積分に計上するとの理解でよろしいでしょうか。	セネガルでの第三国研修は、日本人専門家が同行する場合の費用は本体見積分に計上ください。
11	21	企画競争説明書(P.21-22) 第3章 4.見積書作成にかかる留意事項 (4)定額計上について 定額計上(セネガル第三カ国研修およびセネガルからの第三国講師派遣を伴うマダガスカルでの研修)	セネガル日本職業訓練センターへの再委託業務につきまして、貴機構(やマダガスカル側)と同センターとの間で事前に合意がなされておりますでしょうか。もし既に合意済みであれば、合意された業務範囲についてご教示いただけますと幸いです。また、「金額に含まれる範囲」に記載のない海外旅行保険につきましても、対象経費として含まれるとの理解でよろしいでしょうか。	セネガル日本職業訓練センター(CFPT-SJ)への再委託業務については、現時点でJICA側とCFPT-SJとの間で、業務範囲に関する個別の書面による事前合意はありません。業務内容については、公示資料に記載の範囲を前提に、契約後に調整することを想定しています。 また、海外旅行保険については、「金額に含まれる範囲」の記載から漏れておりますが、第三国研修および第三国講師派遣の実施に当たり必要な経費と考えています。なお、想定される金額は限定的であり、定額計上額の範囲内で対応いただくことを想定しているため、別途見積への計上は不要です。
12	21	企画競争説明書(P.21-22) 第3章 4.見積書作成にかかる留意事項 (4)定額計上について 定額計上(セネガル第三カ国研修およびセネガルからの第三国講師派遣を伴うマダガスカルでの研修)	第三カ国研修や講師派遣後、METFPやLTP3校における報告会や能力強化のような成果を定着させる活動などを想定されておりますでしょうか？その場合、これに伴う経費(会場費、交通費、会議費等)についても先方政府負担になるのでしょうか。	・第三国研修や講師派遣後には、ワーキンググループを介して成果を定着させる活動が行われることを想定されております。一方、カリキュラム改善については、鉱業分野のニーズを反映したカリキュラム改訂案の策定までを想定しております。 ・R/Dでは、通常の会議などの経常的な費用(会場費、交通費、会議費等)については、基本的にC/P側負担と理解しております。また、マダガスカルでのカウンターパートへの旅費のお支払いは想定しておりません。 ・一方で、公示に記載の「マダガスカル現地研修」および「マダガスカル現地ワークショップ」については、本業務の活動として実施が求められているため、必要経費を見積に含めていただく想定です。